

MULTIPLEX
EASYCUB イージーカブ キット
組立補助説明書

当説明書は、キットに同梱されている各国語版の説明書のイラストを参照しながらお読みください。
各国語版の「GB」のページ(P17～26)が英語表記です。

この度はマルチプレックス社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ラジコン飛行機は取り扱いを誤ると自分、及び他人に危害を及ぼす可能性が常にある事を忘れずに最大限の注意を払い、飛行をお楽しみください。また必ずラジコン保険に加入して万一の事故に備えてください。

 **警告 注意 安全のための確認**

- 1) 本機体は入門機ですが全くの初心者の単独飛行は困難です。
必ず経験者の指導のもとに飛行練習を受けてください。
- 2) 各フライト前には必ず各部を慎重に点検してください。
モーターとプロペラの取り付け、翼の取り付け状態、重心位置の確認、各舵の動作状況、無線機のチェック等、安全に配慮した機体の点検を怠らないでください。特に飛行場に到着した時や激しい着陸の後は翼がズレたり搭載物が移動している可能性があります。
- 3) 動力用のバッテリーのコネクターを接続する前に必ず送信機のスイッチを ON にしてモーターコントロールスティック等が必ず OFF 状態にある事を確認してから機体側の動力用バッテリーを接続してください。
守らないと最悪の場合、勝手にモーターが回転して危険な状態になります。
モーターのスピードコントローラーの取り扱いも熟知してください。
- 4) 機体を持つ時は受信機スイッチの ON - OFF に関わらず、プロペラに触れないように保持してください。
万一のプロペラの回転に注意してください。
- 5) 機体を離陸させる時は人に向けてはいけません。手投げの場合も人を背後にした向きで手投げしてください。
飛行中は人や建物、動物に向けて飛行させてはいけません。
- 6) 飛行後のモーターは高温になっています。必ずモーターが冷えてから次の飛行を行なってください。
熱いうちに飛行させますとモーターの寿命が短くなりパワーが低下します。
モーターの温度を確かめるときは火傷に注意してください。
- 7) 機体は高温になる場所に保管しないでください。変形して各部の角度が狂い正常な飛行ができなくなり危険です。特に夏期の車中にはご注意ください。

キット内容のチェック

各国語版の説明書 P21 のイラストと P25 のパーツリストに沿って欠品がないか調べます。
もし欠品や破損品がある場合は ハイテックマルチプレックスジャパン迄ご連絡ください。

推奨搭載メカ等

- ・送信機: Hitec OPTIC6S、OPTIC6SPORT または 3ch 以上の機能を有する送信機
- ・受信機: Hitec NEUTRON6S (16g)、MINI6S (15g)
- ・サーボ: Hitec HS-82MG × 2 重量 19g トルク 2.8Kg/cm

パワーユニット(別売)

イージーカブ用パワーユニット(品番 332637)

- ・モーター: (KV1220)
- ・プロペラ: 10x5
- ・スピードコントローラー: 容量 27A
- ・スピナー: アダプター、スピナーナット

動力用バッテリー: 2セル 2100mAh ~ 2500mAh、Li-Po 電池
マルチプレックス BX2/1 - 2100(品番 157130)、または マルチプレックス BX2/1 - 2500(品番 157190)

機体データ

・全長	980mm
・全幅	1400mm
・翼面積 (FAI)	23 dm ²
・重量	850 g
・翼面荷重 (FAI)	23 g/dm ²

接着剤

当製品の素材はELAPOR Formです。
中粘度又は高粘度の瞬間接着剤と硬化促進剤を使用してください。

図の中のCAと書いてあるのは瞬間接着剤の略号です。

硬化して固くなるエポキシ接着剤はあまり適しません。墜落の激しいショックで剥離する場合があります。これを防ぐ為には接合面の表面を削り落とす意味でサンディングをして表面を荒らすと接着剤が染み込み、効果的です。

硬化しても多少弾力のある接着剤の方が有効です。

ELAPOR Formと成型プラ部品の接着は中粘度の瞬間接着剤(プラ側)と硬化促進剤(ELAPOR Form側)が有効です。

ELAPOR Form側は硬化促進剤を塗布する前にエンジンシンナーで表面を荒らして乾燥した後に塗布します。

注意:瞬間接着剤は目に入ると危険ですので作業中はゴーグルで目を保護してください。

以下は各国語版の説明書イラストに沿って説明します。(P21～24の間)

図1、2 (Abb,1.2)

キットの構成イラストです。部品を確認してください。

図3 (Abb,3)

キャノピーラッチ(22)とモーターマウント(37)を接着します。
両側の胴体とも同じように仕上げます。

図4、5、6 (Abb,4.5.6)

サーボを接着します。ホットボンド又はエポキシ接着剤で固定します。
リンクエジロッドを接着します。このときアウターパイプとインナーパイプが一体化しないようにアウターパイプだけを接着します。
この作業は慎重に行なってください。
右側がエレベーター用で左側がラダー用です。
左側のラダー用が少し長いピアノ線(53)インナーパイプ(57)アウターパイプ(55)をつかいます。

図7 (Abb,7)

まず、主翼取り付けボルト受けを接着します。
2分割の部品をプライヤー等を使って組み立てます。
ネジ受け部に接着剤が入り込まないように注意してください。
主翼取り付けボルト受けを図の位置に挟むようにして胴体を接着します。

図8 (Abb,8)

まず、エレベーターホーンにロッドクランプを装着します。
スムーズに回転できるようにナットの締め具合を調整してください。
ナットのゆるみ止めはエポキシ接着剤の使用を推奨します。
エレベーターに組みあがったホーンを瞬間接着剤で接着します。

図9 (Abb,9)

水平尾翼を接着します。よく見て、捻りや傾きがないように固定してください。

図10 (Abb,10)

テールギア用のピアノ線を加工します。図を参考にして曲げてください。

図11 (Abb,11)

プッシュロッドコネクターをラダーホーンに組み付けます。
スムーズに回転できるようにナットの締め具合を調整してください。
ナットのゆるみ止めはエポキシ接着剤又はネジロックの使用を推奨します。
テールギアとホーンをラダーに接着します。
ピアノ線が入るように1.5mmの溝を作ります。
ラダーと尾輪の方向が揃うように注意してください。

図12 (Abb,12)

尾輪を組み込みます。
尾輪止めのハトメを接着します。
中、外2個接着します。
尾輪の軸に接着剤が入り込まないように注意してください。
エポキシ接着剤を推奨します。

図13 (Abb,13)

胴体に垂直尾翼を取り付けます。
テールギア台座と共に接着します。
水平尾翼と直角になるように取り付けてください。

図14 (Abb,14)

ランディングギア取り付け台座を接着します。
台座を押し込むように仮組みして位置決めをします。
接着は瞬間接着剤を使用します。

図15 (Abb,15)

ランディングギアを台座に取り付けます。
図のように差し込んで抜け止めのねじを締めます。そして、タイヤを取り付けます。
2個ずつのタイヤストッパーを使って取り付けます。
タイヤが軽く回るように固定してください。

図16 (abb,16)

まず、右翼にスパーを取り付けます。
ジョイナー(31)にスパー、パイプを差込み、主翼の溝に挿入します。
収まっていることを確認し瞬間接着剤で固定します。
慎重に確認してから接着してください。

図17 (Abb,17)

図のように左翼にもスパーを取り付けます。
完全に接着剤が硬化してから左右の翼を接合します。
仮組みをして、隙間なく出来ていることを確認してから接着してください。
慎重に作業してください。

図18 (Abb,18)

プラネジを使って主翼と胴体を組み上げてみてください。
主翼ずれ止めの凸部分が胴体に収まるか確認してください。

図19 (Abb,19)

パワーユニットはイージーカブ用純正パワーセット(品番 332637)を推奨します。
図は取り付けの様子です。

図20 (Abb,20)

モーター取り付け版です。4本のネジでサイドスラスト、ダウンスラストの調整をします。
ネジ1回転で0.5mm進みます。
ベストな位置はフライトを重ねて出します。
図は後から見ているところです。

図21 (Abb,21)

図の位置にキャノピーラッチを接着します。

図22 (Abb,22)

メカ積みの様子です。 Akkuはバッテリーのことです。

図23 (Abb,23)

重心位置を合わせます。
電池等の搭載物を移動させて図の示すとおり主翼前縁から80mmの所でつり合うようにします。

付属しているシール等を箱の写真等を参考にして仕上げてください。

本機体の素材はシールののりが付きにくい素材です。
先にエンジンシンナーを布に含ませて拭いて表面を軽く荒らします。
この作業は最大30秒以内にしてください。

受信機、スピードコントローラー、バッテリーの搭載

おおまかに重心を合わせ、位置を決めます。
特にバッテリーは飛行中に移動しないようにマジックテープで固定してください。

注意: 受信機のアンテナ線にモーター配線やバッテリー配線を密着させないでください。
ノイズが受信機に混入しやすくなります。

重心位置 (P24参照)

イラストの位置に重心が来るように搭載物を移動します。
重心位置は飛行機にとって、とても重要な要素です。正確に合わせてください。
重心位置はマークをして飛行前にいつでも確認できるようにします。

エレベーターとラダー舵角の設定

エレベーターのアップ側は舵面の後縁にて上15ミリ下12ミリ、ラダーは舵面の後縁で左右各15ミリです。
この角度になるように送信機、又はホーンの位置を調整してください。

初飛行

注意: ラジコン飛行機が初めてのお客様は必ず経験者に機体のチェックと飛行の指導を受けてください。

初飛行は風の弱い日に行ない、風上に向けてまっすぐスタートさせます。
大きな舵を操作しないように注意して高度をとります。
着陸は、まだバッテリーの残量があるうちに何度かアプローチして
練習しておいて余裕をもって着陸します。

株式会社 ハイテックマルチブレックスジャパン http://www.hitecrd.co.jp 〒140-0012 東京都品川区勝島1-4-19-507 電話:050-5519-4989、FAX:03-5767-6301、E-mail:support@hitecrd.co.jp
--

当製品は改良の為に予告なく内容を変更することがあります、予めご了承ください。